

地元農園でのとうもろこし狩り

1. 目的と経緯

大石保育所では、おおさわ園様に招待され、10年近くとうもろこし狩りを体験させていただいている。おおさわ園様で栽培されている『富士恵味』を収穫し、普段から食べているとうもろこしがどのようなになっているのか、土を踏む感触、形や香り、重さなどを実際に体験することで感覚が刺激され、地元で採れる作物への興味、農家さんへの感謝を持つことを目的としている。

2. 内容

おおさわ園様の畑に年少から年長までの園児が行き、まずは大沢さんから話を伺い、とうもろこしの種類や収穫の仕方などを丁寧に教えていただく。この日の朝、畑に野生動物が入り荒らされる被害があったことを聞いた子どもたちはとても驚いていた。収穫に入ると、どの子も大きいものを見つけようと必死になり自分より大きい背丈の葉をかき分け歩きづらさをもろともせず収穫を楽しむ。

3. 成果と課題

とうもろこしがどのようなになっているのか、収穫するには力があることや実の重さ、匂いなど実際に体験することで学びが得られた。大石地区は野菜や果物の栽培が盛んなので夏に保育所で育てている野菜以外にも興味を持ち、より豊かな食育に繋げていけるように日々の保育に様々な方法で積極的に作物と触れ合う機会を取り入れていく必要がある。

